

REBECCA JENNISON

「山城知佳子とソニ・クムの近年の作品にみるコンタクトゾーンと境界的空間」

“Contact Zones and Liminal Spaces in Recent Works by Yamashiro Chikako and Soni Kum”

Abstract:

この発表では、M・プラットが提唱した概念「contact zone」（コンタクト・ゾーン）やF・リオネットとM・シーが提唱した概念「minor transnationalism」を参照しながら、現代美術家である山城知佳子とソニ・クムの映像、パフォーマンスや project-based 作品について考察する。山城知佳子の『土の人～あなたをくぐりぬけて』（京都芸術センター、Kyoto Experiment, 2018）は戦争の記憶の継承をテーマとする一連の作品の新作とも言えるが、この3チャンネルのビデオ・インスタレーションやパフォーマンス作品では沖縄、濟州島の他、過去に戦場となって現在は米軍基地のある村を舞台にしている。リミナルな空間である「黙認耕作地」や洞窟の映像を記録ドキュメンタリー映像と並べながら、これまでに見えて来なかった東アジアや環太平洋の人々の関係性を可視化している。現代美術家であるソニ・クムは「在日三世ディアスポラ」という視点から、創造的な映像作品、パフォーマンスや地域社会に根差した作品を制作し続けて、東アジアの国民国家中心の歴史的ナラティブを解体し、アート表現を通して新しい視点を提供している。今回は、「vegetation」（2010）や「Heaven's Gate」（2014）を中心に、クムがどの制作活動がどのように「minor transnationalisms」を可視化しているかについて検討する。

Representative works:

“‘Postmemory’ in the work of Oh/Haji and Soni Kum,” *Still Hear the Wound: Toward an Asia, Politics, and Art to Come* (Cornell East Asia Series), Renaissance Books Ltd, 2015. (also in 『残傷の音』、岩波書店、2009)

“Precarity, Performance, and Activism in Recent Works by Ito Tari and Yamashiro Chikako,” *Performance, Feminism and Affect in Neoliberal Times*, ed. by Elin Diamond, Denise Varney and Candice Amich, ALGRAVE, 2017

“Re-imagining Islands: Notes on Selected Works by Oh Haji, Soni Kum and Yamashiro Chikako,” *Asian Diasporic Visual Cultures and the Americas*, Vol. 3, Nos. 1-2, Spring 2017 pp. 155-177